

2017.6

6月28～30日、BIO tech 2017において、「タンパク質と無機物表面の界面制御技術の創成と利用」発表 [LinkIcon](#)

2017.5

6月13日、JST 新技術発表会で、新しい生物封じ込め技術を発表します。 [LinkIcon](#)

2017.5

5月23～26日、環境展 2017においてアスベスト検出装置を出展します [LinkIcon](#)

2017.3

「生物発光を利用したエントキシン検査法」が実用化されました [LinkIcon](#)

2017.3

ゲノム編集技術などによる遺伝子組換え微生物の安全性を高める技術を開発（廣田助教、黒田教授） [LinkIcon](#)

2016.11

廣田助教が科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業（JST-ALCA）に代表として採択されました。

2016.10.19-21

危機管理産業展 2016に出展（災害時のアスベスト検査）

2016.10.19

環境省主催「環境研究の最前線」で発表（ビデオ公開中）

2016.9.26

スマートバイオセンシング技術、ひろしま産業振興機構マッチングフォーラムで研究公開

2016.8

当研究室の藤原君が鳥人間コンテストで4位入賞！

2016.8.25-26

アスベストを簡単に検知できるタブレット顕微鏡ーイノベーションジャパンで発表します。

[LinkIcon](#)

2016.6.28

黒田教授、西村研究員、石田特任助教、マキシム研究員らが環境賞環境大臣賞を受賞

[LinkIcon](#)

2016.5.12

国際バイオテクノロジー展で、野外でのバイオ検査を目的とした携帯型蛍光顕微鏡の展示と発表 [LinkIcon](#)

2015.11.26

第2回持続的リン利用シンポジウム（早稲田大学）で司会と講演

2015.11.16

Life is small ースマホ顕微鏡でオープンサイエンス YouTube で動画公開

2015.10.28

シンポジウム「安全な水・大気・土壌環境づくりのためのバイオセンシングと実用化に向けての取り組み」開催

2015.10

広島大学スマートバイオセンシング融合研究拠点を設置

2015.9.30

持ち運べる iPad 蛍光顕微鏡開発プレス発表

2015.9.24

日経バイオテク：広島の黒田教授らが酸化ケイ素タグとアルギニンで蛋白質精製、DNA 精製用スピンカラムで実用化へ

2015.9.8

黒田教授が新技術発表会で発表します (JST 本部)。LinkIcon

2015.5.27

廣田助教が新化学技術推進協会第 4 回新化学技術研究奨励賞を受賞

2015.5.14

黒田教授が国際バイオテクノロジー展で発表します。LinkIcon

2015.4.25

血液浄化技術学会「高輝度ルシフェラーゼを利用したエンドトキシンの迅速・高感度測定技術」東亜 DKK 社と共同発表

2014.10.30

環境省環境研究総合推進費事後評価で「S」評価を頂きました。LinkIcon

2014.6.4

環境省環境調査研修所で蛍光顕微鏡法の実演を行いました。

2013.11.28

池田助教が第 2 回エヌエフ基金研究開発奨励賞を受賞しました。

2013.11.2

広島大学ホームカミングデーにて研究室を公開し、「バイオ技術によるアスベスト検出技術」を紹介します。LinkIcon

2013.9

廣田助教がイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(University of Illinois at Urbana-Champaign)に留学しました。

2013.4

黒田教授が広島大学 DP(Distinguished Professor)、池田助教が PR(Distinguished Researcher)に選ばれました。LinkIcon

2013.3.5

池田助教が国際ナノデバイステクノロジーワークショップ 2013 で発表します。LinkIcon

2013.2

科学技術振興機構 (JST)ニュース 2月号に取り上げられました。LinkIcon

2013.1.16

広島県・広島大学の医工連携説明会・情報交換会 in 東京で講演します (高輝度ルシフェラーゼの医療診断応用) LinkIcon

2012.9.26

プレスリリース: 科学技術振興機構、広島大学、インテック(株)、シリコンバイオ共同 (アスベスト検出用のソフト開発) LinkIcon

2012.6.19

池田助教が平成 24 年度化学素材研究開発振興財団記念基金グラント研究奨励賞を受賞しました。LinkIcon

2012.4.9

文部科学大臣表彰 (科学技術賞) を受賞しました (黒田教授と石田特任助教)。LinkIcon

2012.3.2

平成 23 年度アスベスト大気濃度調査第 3 回検討会 (公開) LinkIcon で講演を行います。

2011.11

先端計測分析技術・機器開発プログラム事後評価で「S」評価を受けました。LinkIcon

2011.11.15

第 2 回「蛍光顕微鏡法によるアスベスト計測」講習会のご案内 LinkIcon

2011.11.15

池田助教が第 31 回 (2011 年秋季) 応用物理学会講演奨励賞を受賞しました。LinkIcon

2011.10.5

廣田助教が化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金、環境バイオテクノロジー学会奨励賞を受賞しました。LinkIcon

2011.6

環境省環境研究総合推進費「解体現場のアスベストリスクに対応する特異的バイオプローブの創成と迅速検出への応用」に採択されました。LinkIcon

2011.03.29

環境省迅速な測定方法に係る意見交換会で講演 LinkIcon

2011.03.01

池田丈助教が着任されました

2010.10.01 J S T 先端計測分析技術・機器開発事業 (課題名: バイオ蛍光法によるアスベスト自動計測ソフトウェアの開発) に採択されました。LinkIcon

2010.09.22 広島大学知財貢献賞 (2004 年の国立大学法人化以降の国内出願件数数学内トップ 3) を受賞しました LinkIcon

2010.06.29 環境省主催 アスベストモニタリングマニュアル説明会で「大気中アスベスト

の蛍光顕微鏡法による測定方法」を講演 [LinkIcon](#)

2010. 03.25 微生物のシリコンの謎に関して、サイエンス誌にインタビュー掲載されました。 [LinkIcon](#)

2010.03.19 シリコン結合タンパク質 Si-tag を利用したバイオセンサー開発が日経産業新聞(3月17日付11面)・化学工業日報(3月10日付1面)で紹介されました。 [LinkIcon](#)

2009.12.16 “未来へのバイオ技術”勉強会 「生体に学ぶイノベーション ～ものづくり、環境、デザイン」で講演 [LinkIcon](#)

2009.12.09 先端計測分析技術・機器開発事業 5周年記念シンポジウム・技術説明会にて発表 [LinkIcon](#)

2009.10.01 バイオ Japan (横浜) で発表、バイオ技術による迅速・高感度・簡易アスベスト検出キット開発

2009. 09.2-4 分析展 2009 (幕張) で展示、バイオイメージングの世界を無機に展開-超微細なアスベストの蛍光検出が可能になった

2009. 02.13 エンドトキシン検出法の基礎知識と最新技術セミナーで発表 原理 [LinkIcon](#)

2008. 11.26 JST イノベーションブリッジで発表、環境バイオセンシングのための酵素開発 [LinkIcon](#)

2008. 10.08 日経産業新聞「石綿の飛散量1時間で計測、解体現場確認早く」で掲載

2008.06.30 日経新聞に広島大研究グループ「細菌毒素10分で検出」で掲載されました。 [LinkIcon](#)

2008.06.04 バイオビジネスコンペで最優秀賞受賞 [LinkIcon](#)

2008.02.09 17:15～ サイエンスチャンネル - Message from Scientists - にて放映されません。 [LinkIcon](#)

2007.12.10 アーサー・コーンバーグ博士追悼 [LinkIcon](#)

2007.10.25 日経BP2007年10月号に紹介されました。 [LinkIcon](#)

2007.8.31 先端計測分析技術・機器開発事業における平成19年度新規採択開発課題において採択されました

2007.6.15 コーンバーグシンポジウムで発表しました。 [LinkIcon](#)

2007.4.9 Si-tag の論文が Biotechnology and Bioengineering 誌の Spot light で紹介されました [LinkIcon](#)

2007.2.28 環境新聞の「アスベスト問題の波紋43 用途広がる簡易測定技術」で紹介されました。(1面)

2007.2.8 日本生物工学会 産学連携シンポジウム - 超高感度 ATP 検査試薬およびバイオによるアスベスト検出発表

2007.1.30 - 31 SORST シンポジウム - バイオ技術によるアスベスト簡易検出発表 [LinkIcon](#)

2006.12.18 生物工学フォーラム - 環境バイオセンシングのための酵素開発発表しまし

た。

2006. 12.15 - 16 さきがけライブ 2006 に出展しました LinkIcon

2006. 11.18 ひらめき☆ときめきサイエンス開催しました。LinkIcon

2006. 8.18 「アスベスト 自分で検査」で紹介されました。(日経新聞ほか)

2006. 2.22 日経産業新聞の「大腸菌検出 感度 100 倍に」で紹介されました。

2005. 8.18 中国新聞の「バイオベンチャー誕生」で紹介されました。(10面)

2005. 3. 2 佐藤君論文 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 論文賞受賞。LinkIcon

2004.12.15 テレビ新広島知恵の輪ニッポンで放送 (25 時 35 分~26 時 05 分)

2004.12.10 さきがけライブ 2004 東京国際フォーラムでさきがけ研究の成果を発表。

2004.11.22 日経産業新聞「ATP, 爆発的に増やす技術」で報道されました。

2004.11.08 バイオクラスターでの成果が日経ナノビジネス創刊号 NO. 1 に紹介されました。

学生の受賞

2018.6.25

佐野公亮君「リン代謝経路の改変によるシアノバクテリアの生物学的封じ込め手法の開発」、環境バイオテクノロジー学会ベストポスター賞受賞

2015.2

M1 中司 圭亮君「分割 G-quadruplex の再構成を利用したバイオセンシング」修士論文中間発表会においてベストポスター賞 LinkIcon

2013.9

本村研究員の演題「Bacillus cereus のシリカ蓄積機構に関与する孢子タンパク質の同定」が第 65 回日本生物工学会大会のトピックスに選ばれました。LinkIcon

2013.9

M1 城浩吉君の演題「ルシフェラーゼを用いたインフルエンザ検査法の開発」が第 65 回日本生物工学会大会のトピックスに選ばれました。LinkIcon

2013.6

M2 石田康晃君が修士論文中間発表会においてベストポスター賞を受賞しました。LinkIcon

2013.1

M1 の石田泰晃君が、生物工学会西日本支部 2012 年度学生賞を受賞しました。LinkIcon

2012.8

M1 戸田敬志君の演題「多孔質シリカ粒子上への酵素集積化とバイオプロセスの応用」が第 64 回日本生物工学会大会のトピックスに選ばれました。LinkIcon

2012.6.20

吾郷友哉君がベストポスター賞を受賞しました。LinkIcon

2011.9.2

M2 松山諭史の演題「Bacillus 属細菌孢子におけるケイ素含有レイヤー構造体の形成機構の解析」が第 63 回日本生物工学会大会のトピックスに選ばれました。LinkIcon